令和６年度　林業普及週間現地情報(9/30～10/4)

森林管理課

市町村職員向け木材乾燥勉強会の実施

10 月３日（木）

令和６年 10 月３日、名護市にある県の森林資源研究センターにおいて、北部管内の市町村林務担当者等を対象とした木材乾燥勉強会を開催した。当日は国頭村、名護市、今帰仁村、本部町、宜野座村等から計 10 名の参加があった。

昨年度から実施している「地域材利用促進モデル事業」（以下、モデル事業）において、今帰仁村有林内で収穫伐採したクスノキ材を天然乾燥後、人工乾燥を実施しており、乾燥工程が概ね完了したことから、本勉強会は市町村による地域材利用の実施に向けて、モデル事業での実績を参考として、市町村職員に木材乾燥に関する知見を深めてもらうことを目的としている。

勉強会では普及指導員からモデル事業の概要、進捗状況等を説明した後、研究センターの研究員より、木材乾燥に関する基礎、及びモデル事業で実施したクスノキの乾燥に関する取組、クスノキ以外の県産樹種乾燥特性等について講義を行った。本勉強会により、比較的乾燥に時間を要する広葉樹材であっても、人工乾燥を実施することで材厚次第では１年で、また乾燥の早いリュウキュウマツや早生広葉樹であれば数カ月で利用可能となることを知ってもらうことができた。

今後もモデル事業を活用して木材加工等について勉強会を開催し、市町村による地域材利用の推進に繋げていきたい。

講義の様子

乾燥機の見学状況

（報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉）